

(様式1)

「地域・企業等と連携した PISA 型読解力向上事業研究指定校」実績報告書 (2 年次)

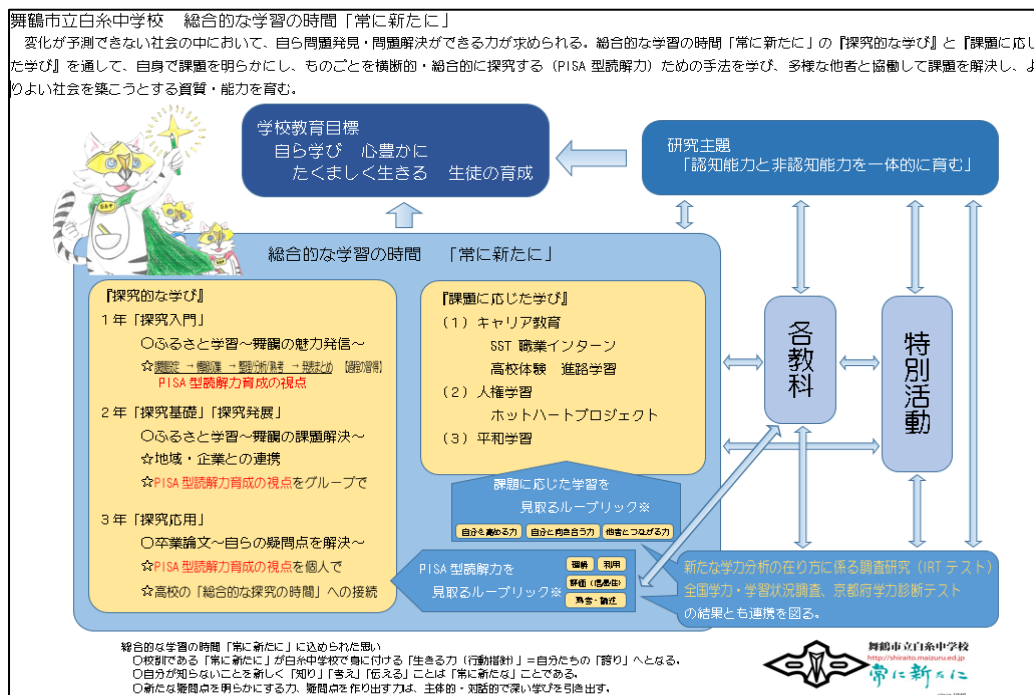
1 学校名等

学 校 名	舞鶴市立白糸中学校				校長名	秋原 栄人	
研 究 主 題	P I S A 型読解力と非認知能力の向上を図る。 ～ P I S A 型読解力ルーブリックの活用を通して～						
研究の目的	「予測が困難な時代」を主体的に生き抜くためには、適切に情報を読み取り、活用する力（P I S A 型や非認知能力）の育成が求められるため、本研究主題を設定し、「評価・熟考する能力」の視点を加え、文章を評価したり、根拠を明確にした自分の意見を説明したりすることができる生徒の育成を目指す。						
学 年	1 年	2 年	3 年	特別支援	合 計	教職員数※校長・教頭を含む	
学 級 数	5	4	4	3	1 6	4 0	
生 徒 数	1 6 4	1 4 6	1 4 0	1 5	4 6 5		

2 研究校の概要 (生徒の実態、学力状況(分析)、研究体制等)

本校生徒は、様々な文章や記録、図やグラフなど(テキスト)から情報を探し出すことや、質と信ぴょう性を評価することに弱み(課題)がある。また、その力を実際に社会の中で活用できるか検証する機会の設定ができていない現状である。さらに、自ら主体的に物事に取り組む、自分の気持ちをコントロールする、他者とコミュニケーションが取れる、自分に自信を持つといった非認知能力の育成が課題となっている。一方、授業での協働学習に意欲的に取り組み、主体的に学習に向かう姿勢が見られる生徒もいる。「予測が困難な時代」を主体的に生き抜くためには、適切に情報を読み取り、活用する力 (P I S A 型や非認知能力) の育成が求められるため、本研究主題を設定し、「評価・熟考する能力」の視点を加え、文章を評価したり、根拠を明確にした自分の意見を説明したりすることができる生徒の育成を目指す。

【研究体制】



校長(渉外)・教頭(渉外・研究計画等)・教務※研究主任(立案・資料作成・提案等)・各学年主任(具体的な探究活動計画等)が「研究推進部」となり本研究の中心となって研修を推進する。

3 主な研究活動（時期や内容等）

【教員用】令和4年度 舞鶴市立白糸中学校 総合的な学習の時間「常に新に」へ

評価シート①

評価の項目	エキスパート (満点) 4点	プロフェッショナル (専門員) 3点	セミプロ 2点	ビギナー 1点	1	2	3	4	5	6	7	8
◎課題設定◎ 【主題】→【発見】	調べた情報や様々な 視点でとらえ、誰か が納得できる結論を 導き出している。	調べた情報をもと に、自分たちの考え に基づいて課題を探究 している。	調べた情報をもと に、課題を探究して いる。	調べた情報を表し ている。								
◎データ作成◎ 【情報の力】	集めたデータをもと に、効果的な表やグ ラフを作っている。	集めたデータをもと に、わかりやすい表 やグラフを作ってい る。	集めたデータをもと に、表やグラフを作 っている。	表やグラフを使っ ている。								
◎情報検索◎ 【情報ある力】	あつめた情報を深 く、色々な角度から 調べている。	あつめた情報を、深 く調べている。	あつめた情報を、浅 く調べている。	あつめた情報を記述 している。								
◎伝承力◎ 【表現力】 【発表の仕方】	発表者の伝えたいこ とが、簡明かつわか りやすく説明されて いる。	発表者の伝えたいこ とが、わかりやすく 説明されている。	発表者の伝えたいこ とが、説明されてい る。	発表ツールを使っ て表している。								

合計得点

評価プラスα大切な視点

- ・誰のため、何のために？具体的に説明できているか。
- ・課題解決のための手立てが具体的な。(ゴミを捨てる× ひとりゴミを〇g捨てる×)
- ・解決した基準は？どう判断する？
- ・解決した後の姿は？

[illegible][illegible][illegible]

※本年度「教員用」ルーブリックの見直しと新たに「生徒用」ルーブリックを作成し生徒同士の相互評価に活用した。(別紙参照)

「企業・地域連携」

○6月24日（金）オムロンソーシャルソリューションと学校のオンライン会議

「オムロン:小川様」と学校側「オムロン:塩谷様、府教委:中村様、中丹局:西村様、市教委:衣川様、校長:秋原、教頭:松林、教務:研究主任:近藤」とオンライン会議

○7月13日(水)7/19の事前打ち合わせ

オムロン:塩谷様、市教委:衣川様、学校(秋原、近藤・2年生学年担当)

○7月19日（火）5限2年生総合的な学習の時間「地域・企業と連携した探究活動について」

オムロン:塩谷様、市教委:衣川様、府教委:中村様、中丹局:西村様

①探究活動の意義（近藤）②企業紹介と舞鶴市との連携（塩谷様）③課題提起（谷）

○7月28日（木）戸田市のPBLについて（埼玉県戸田市養育委員会）とのZoom会議

戸田市教育委員会、市教委:衣川様、学校（松林、近藤）

○8月4日（木）埼玉県戸田市教育委員会主催の研修会にオンライン参加

戸田市教育委員会、市教委（衣川様）、学校（松林、近藤、1・2年主任）

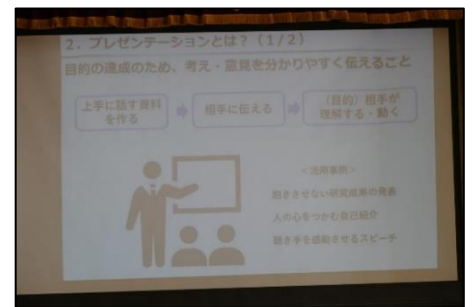
○8月5日（金）オムロンと連携 Zoom 会議 オムロン小川様・塩谷様、市教委:衣川様、学校(松林、近藤)

○12月14日（水）打合せ：中間発表に向けて 市教委・衣川様、学校（秋原、近藤）

○12月22日（木）3・4限2年生総合的な学習の時間「常に新たに」の『探究的な学び』中間発表会
オムロン:小川、塩谷様、府教委:中村様、中丹局:西村様、市教委:衣川様と、各教室をオンラインで結んで中間発表会及び指導助言（生徒へ）を実施



○3月3日（金）5限2年生総合的な学習の時間でオムロン（塩谷様）よりプレゼンテーション講座
目的「①プレゼントとは何かを知る。②相手に伝わるプレゼンのコツを押さえる。」



○3月20日（月）3・4限2年生総合的な学習の時間「常に新たに」の『探究的な学び』最終発表会
「予定参加者」オムロン：小川様（オンライン）塩谷様、市教委:衣川
10のブースで4～5グループで最終発表し、1年生が発表会に参加する。併せて1年生の総合的な学習の時間の発表も実施予定

4 今年度の研究の成果と検証（生徒、教職員、学校、家庭・地域社会の変容等）

○9月29日（木）白糸中学校区小中一貫研究会（校区小学校とオンライン）で、IRT（京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～）等の指導助言（府教委:中村様）・評価・検証した。

○12月7日（水）校内研修会

IRT（京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～）の結果をもとに学校全体の傾向と個別の手立てを検証し支援の目標を立てた。

5 今年度の課題

本取組の中で協働学習に意欲的に取り組み、主体的に学習に向かう姿勢が見られる生徒もいたが、個別やグループで熟考する時間や振り返る時間の確保に課題があった。また、企業と連携し学習の成果を自分たちでアウトプットすることで探究課題に意欲的に取り組めたが、さらにプレゼンテーション能力等を身に付けて、アウトプットしていく必要があると感じた。

6 来年度の研究構想

今後も「予測が困難な時代」を主体的に生き抜くためには、適切に情報を読み取り、活用する力（PISA型や非認知能力）の育成が求められるため、「評価・熟考する能力」の視点を加え、文章を評価したり、

根拠を明確にした自分の意見を説明したりすることができる生徒の育成を目指す。その中で I R T（京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～）の結果や検証をもとにした支援や関り方を共通理解し学校や学年で組織的に取り組めるようにする。

また、3年生での個別の卒業研究論文作成の題材設定時に、自分自身の課題に向かい合い、題材を熟考して、自らが設定して取り組めるようにしたい。課題設定などは教師側からの方向性や提案を受けた自己決定や学習になりがちだが、時間を要するが自分で選択や決定をし、自己の課題に向き合わせることでその後の探究活動を充実させたい。

令和4年度 総合的な学習の時間「常に新たに」(年間計画)

1年生				
時数	学習の分類	内容		月
1	探究的な学びⅠ-1	探究基礎-1	ふるさと学習Ⅰについて	4
2	探究的な学びⅠ-2	探究基礎-2	小学校の学びの交流	4
3	探究的な学びⅠ-3	探究基礎-3	PowerPointについて	5
4	探究的な学びⅠ-4	探究基礎-4	iMovieについて	5
5	探究的な学びⅠ-5	探究基礎-5	疑問点(問い)の作成	6
6	探究的な学びⅠ-6	探究基礎-6	舞鶴講話1(理解)	7
7	探究的な学びⅠ-7	探究基礎-7	舞鶴講話2(理解)	7
8	探究的な学びⅠ-8	探究基礎-8	情報収集1(整理、分析、評価)	8
9	探究的な学びⅠ-9	探究基礎-9	情報収集2(整理、分析、評価)	9
10	探究的な学びⅠ-10	探究基礎-10	動画構成について(熟考)	9
11	探究的な学びⅠ-11	探究基礎-11	PR動画撮影1(熟考)	9
12	探究的な学びⅠ-12	探究基礎-12	PR動画撮影2(熟考)	9
13	探究的な学びⅠ-13	探究基礎-13	学級内発表1(質疑応答)	10
14	探究的な学びⅠ-14	探究基礎-14	学級内発表2(質疑応答)	10
15	探究的な学びⅠ-15	探究基礎-15	振り返り(再構築)	10
16	探究的な学びⅠ-16	探究基礎-16	舞鶴の魅力を広めてもらうためには1	11
17	探究的な学びⅠ-17	探究基礎-17	舞鶴の魅力を広めてもらうためには2	11
3年生				
時数	学習の分類	内容		月
1	探究的な学び	探究応用-1	今年度の探究的な学びについて	5
2	探究的な学び	探究応用-2	ネットモラルについて	5
3	探究的な学び	探究応用-3	著作権について	6
4	探究的な学び	探究応用-4	疑問点(問い)作成	7
5	探究的な学び	探究応用-5	情報収集1(理解)	9
6	探究的な学び	探究応用-6	情報収集2(理解)	9
7	探究的な学び	探究応用-7	情報収集3(理解)	9
8	探究的な学び	探究応用-8	情報収集4(理解)	9
9	探究的な学び	探究応用-9	スライド作成1(整理、分析、評価)	10
10	探究的な学び	探究応用-10	スライド作成2(整理、分析、評価)	10
11	探究的な学び	探究応用-11	スライド作成3(熟考)	10
12	探究的な学び	探究応用-12	スライド作成4(熟考)	10
13	探究的な学び	探究応用-13	発表練習	11
14	探究的な学び	探究応用-14	学級内発表1(論述、質疑応答)	11
15	探究的な学び	探究応用-15	学級内発表2(論述、質疑応答)	11
16	探究的な学び	探究応用-16	学年発表(論述、質疑応答)	12
17	探究的な学び	探究応用-17	振り返り(再構築)	12
18	探究的な学び	探究応用-18	論文作成1(整理、分析、評価)	12
19	探究的な学び	探究応用-19	論文作成2(整理、分析、評価)	1
20	探究的な学び	探究応用-20	論文作成3(整理、分析、評価)	1
21	探究的な学び	探究応用-21	発表練習	1
22	探究的な学び	探究応用-22	校内発表1(1年生向け)	1
23	探究的な学び	探究応用-23	校内発表2(1年生向け)	1
24	探究的な学び	探究応用-24	校内発表1(2年生向け)	2
25	探究的な学び	探究応用-25	校内発表2(2年生向け)	2
26	探究的な学び	探究応用-26	振り返り(再々構築)	2

2年生				
時数	学習の分類	内容		月
1	探究的な学びⅡ-1	探究基礎	今年度の探究的な学びについて	4
2	探究的な学びⅡ-2	探究基礎	舞鶴市が抱える課題1(企業連携)(理解)	5
3	探究的な学びⅡ-3	探究基礎	舞鶴市が抱える課題2(企業連携)(理解)	5
4	探究的な学びⅡ-4	探究基礎	疑問点(問い)の作成1	5
5	探究的な学びⅡ-5	探究基礎	Field Work1(企業連携)(理解)	6
6	探究的な学びⅡ-6	探究基礎	Field Work2(企業連携)(理解)	6
7	探究的な学びⅡ-7	探究基礎	Field Work3(企業連携)(理解)	6
8	探究的な学びⅡ-8	探究基礎	Field Work4(企業連携)(理解)	6
9	探究的な学びⅡ-9	探究基礎	Field Work5(企業連携)(理解)	6
10	探究的な学びⅡ-10	探究基礎	Field Work6(企業連携)(理解)	6
11	探究的な学びⅡ-11	探究基礎	疑問点(問い)の作成2	6
12	探究的な学びⅡ-12	探究基礎	情報収集1(整理、分析、評価)	7
13	探究的な学びⅡ-13	探究基礎	情報収集2(整理、分析、評価)	7
14	探究的な学びⅡ-14	探究基礎	情報収集3(整理、分析、評価)	7
15	探究的な学びⅡ-15	探究基礎	スライド作成1(整理、分析、評価)	9
16	探究的な学びⅡ-16	探究基礎	スライド作成2(整理、分析、評価)	9
17	探究的な学びⅡ-17	探究基礎	スライド作成3(熟考)	9
18	探究的な学びⅡ-18	探究基礎	スライド作成4(熟考)	9
19	探究的な学びⅡ-19	探究基礎	中間発表準備1(熟考)	9
20	探究的な学びⅡ-20	探究基礎	中間発表準備2(熟考)	9
21	探究的な学びⅡ-21	探究基礎	中間発表会1(企業連携)	9
22	探究的な学びⅡ-22	探究基礎	中間発表会2(企業連携)	9
23	探究的な学びⅡ-23	探究基礎	振り返り(再構築)	9
24	探究的な学びⅡ-24	探究発展	疑問点(問い)の作成3	10
25	探究的な学びⅡ-25	探究発展	情報収集4(整理、分析、評価)	10
26	探究的な学びⅡ-26	探究発展	情報収集5(整理、分析、評価)	10
27	探究的な学びⅡ-27	探究発展	情報収集6(整理、分析、評価)	10
28	探究的な学びⅡ-28	探究発展	情報収集7(整理、分析、評価)	10
28	探究的な学びⅡ-28	探究発展	情報収集8(整理、分析、評価)	10
29	探究的な学びⅡ-30	探究発展	スライド作成5(熟考)	11
30	探究的な学びⅡ-31	探究発展	スライド作成6(熟考)	11
31	探究的な学びⅡ-32	探究発展	発表準備1(熟考)	11
32	探究的な学びⅡ-33	探究発展	発表準備2(熟考)	11
33	探究的な学びⅡ-34	探究発展	発表会1(企業連携)	12
34	探究的な学びⅡ-35	探究発展	発表会2(企業連携)	12
35	探究的な学びⅡ-36	探究発展	発表会3(企業連携)	12
36	探究的な学びⅡ-37	探究発展	振り返り(再々構築)	12
37	探究的な学びⅡ-38	探究発展	壁新聞「復活の舞鶴」づくり1	11
38	探究的な学びⅡ-39	探究発展	壁新聞「復活の舞鶴」づくり2	11
39	探究的な学びⅡ-40	探究発展	壁新聞「復活の舞鶴」づくり3	12
40	探究的な学びⅡ-41	探究発展	壁新聞「復活の舞鶴」づくり4	12
41	探究的な学びⅡ-42	探究発展	壁新聞「復活の舞鶴」づくり5	12

【教員用】令和4年度 舞鶴市立白系中学校 総合的な学習の時間「常に新たに」

評価シート

評価の項目	エキスパート (熟達者) 4点	プロフェッショナル (専門職) 3点	セミプロ 2点	ビギナー 1点
◇課題設定◇ 【理 解】→【発見力】	調べた情報を様々な見方でとらえ、誰もが納得できる課題を提起している。	調べた情報をもとに、自分なりの考えを持って課題を提起している。	調べた情報をもとに、課題を提起している。	調べた情報を発表している。
◇データ作成◇ 【利用の力】	集めたデータをもとに、効果的な表やグラフを作っている。	集めたデータをもとに、わかりやすい表やグラフを作っている。	集めたデータをもとに、表やグラフを作っている。	表やグラフを使っている。
◇信頼度◇ 【見極める力】	あつめた情報を深く、色々な角度から調べている。	あつめた情報を、深く調べている。	あつめた情報を、よく調べている。	あつめた情報を記述している。
◇伝え方◇ 【説得力】 【発表の仕方】	発表者の伝えたいことが、根拠がありわかりやすく説明されている。	発表者の伝えたいことが、わかりやすく説明されている。	発表者の伝えたいことが、説明されている。	発表ツールを使って発表している。

評価プラスα大切な視点👁️

- ・ 誰のため、何のために？具体的に説明できているか。
- ・ 課題解決のための手立てが具体的か。（ゴミを拾う× ひとりゴミを〇g拾う）
- ・ 解決した基準は？どう判断する？
- ・ 解決した後の姿は？

1	2	3	4	5	6	7	8
合計得点							

【教師用】令和４年度 舞鶴市立白糸中学校 総合的な学習の時間「常に新たに」
『課題に応じた学び』を見取るループリック

項目	資質・能力	レベル AA	レベル A	レベル B	レベル C	向上が期待される 非認知能力
自分と向き合う力	自らの「疑問点（問い）」を作り出す力	<u>課題に対する多角的で本質に迫る</u> 自らの「疑問点（問い）」を作り出すことができる。	<u>課題に対する多角的な</u> 自らの「疑問点（問い）」を作り出すことができる。	<u>課題に対する</u> 自らの「疑問点（問い）」を作り出すことができる。	<u>何かしらの</u> 「疑問点（問い）」を作っている。	忍耐力 耐性 自制心 勤勉性 想像力
	自分の意志で感情や欲望を調節できる力	<u>周囲に流されず、自分の強い意志で感情や欲望をよりよく見通しを持って調節</u> できる。	自分の <u>強い意志</u> で感情や欲望を <u>よりよく調節</u> できる。	自分の <u>意志</u> で感情や欲望を <u>調節</u> できる。	自分の感情や欲望を <u>部分的に調節</u> している。	
	やるべきことを理解し、きちんと実行する力	<u>やるべきことを状況に応じて適切に判断し、自身の成長に向け実行</u> することができる。	<u>やるべきことを状況に応じて判断し、よりよい形で実行</u> することができる。	<u>やるべきことを理解し、きちんと実行</u> することができる。	やるべきことを <u>部分的に実行</u> することができる。	
自分を高める力	自分はそれが実行できるという期待や自信を持つ力	<u>困難な事柄に対しても、自分はそれが実行できるという期待や自信を根拠と工夫を基に持つ</u> ことができる。	<u>多少困難な事柄に対しても、自分はそれが実行できるという期待や自信を根拠を基に持つ</u> ことができる。	<u>事柄に対して、自分はそれが実行できるという期待や自信を持つ</u> ことができる。	自分はそれが <u>実行できると考えている</u> 。	自己効力感 自信 自尊感情 意欲 情熱 計画力 メタ認知
	自らの目標と関連付けた計画を立てる力	<u>根拠に基づく自らの目標と関連付けた効果的な計画を立て</u> ることができる。	<u>前向きな自らの目標と関連付けた効果的な計画を立てる</u> ことができる。	<u>自らの目標と関連付けた計画を立てる</u> ことができる。	<u>自らの目標と計画をそれぞれ立て</u> ている。	
	自らの行動についての自身の状況や内面を振り返る力	自らの行動についての自身の状況や内面を <u>原因と対策を付け加えて振り返る</u> ことができる。	自らの行動についての自身の状況や内面を <u>原因を付け加えて振り返る</u> ことができる。	自らの行動についての自身の状況や内面を <u>振り返る</u> ことができる。	自らの行動について、 <u>事実を振り返</u> っている。	
他者とつながる力	目標達成に向け、相手の立場に立ち関わる力	目標を達成させるため、様々な意見を持つ複数の相手の <u>立場を踏まえ、仲間に適切に関り働きかける</u> ことができる。	目標を達成させるため、複数の相手の <u>立場に立ち仲間に適切に関わる</u> ことできる。	目標を達成させるため、 <u>相手の立場に立ち仲間に関わる</u> ことができる。	目標を達成させるために、 <u>仲間に言葉をかけている</u> 。	社交性 協調性 協働性 意志疎通力 共感性
	相手の意見を最後まで聴き、内容に関する質問をする力	相手の意見を <u>尊重し調子を合わせながら最後まで聴き、思考が深まる質問</u> をすることができる。	相手の意見に <u>調子を合わせながら最後まで聴き、内容が深まる質問</u> をすることができる。	相手の意見を最後まで聴き、 <u>内容に関する質問</u> をすることができる。	相手の意見を <u>聞き、質問</u> をしている。	
	集団の中で自分の役割を自覚して行動する力	集団の中で <u>その場に応じた自分の役割と意義を自覚し、その内容が深化するよう行動</u> することができる。	集団の中で自分の役割と意義を自覚し、 <u>その内容が高まるよう行動</u> することができる。	集団の中で自分の役割を自覚して <u>行動</u> することができる。	集団の中で <u>活動</u> している。	



【生徒用】令和4年度 舞鶴市立白系中学校 総合的な学習の時間「常に新たに」

評価シート

評価の項目	エキスパート (熟達者) 4点	プロフェッショナル (専門職) 3点	セミプロ 2点	ビギナー 1点
◇課題設定◇ 【理 解】→【発見力】	その課題、すばらしい。その考えは思い つかなかったよ。	その課題、わかりや すくて、とてもいい ね。	その課題、いいね。	課題をもう少し工夫 しようね。
◇データ作成◇ 【利用の力】	そのオリジナルの表 やグラフ、めっちゃ すごい！参考になる わぁ。	わかりやすい表やグ ラフが1つ作って あって、とてもいい よ！	表やグラフが1つ 作ってあって、いい ね。	自分たちで表やグラ フをまず作ろう。
◇信頼度◇ 【見極める力】	すげえ。それ信じて まうわ。めっちゃ調 べてるやん。 Excellent.	なるほど。よく調べ てあるね。Very Good.	よく調べてあって Good。	もうちょっと調べよ うね。
◇伝え方◇ 【説得力】 【発表の仕方】	すごい、めっちゃ伝 わってきた。もうテ レビに出て大丈夫 なんじゃない!?	伝え方が上手。全校 生徒の前で発表して も大丈夫！！	伝え方いいね。クラ スのみんなも納得！	もう少し自信を持っ て大丈夫。練習しよ う。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
合計得点														

- 評価プラスα大切な視点👁️
- 誰のため、何のために？具体的に説明できているか。
 - 課題解決のための手立てが具体的か。（ゴミを拾う× ひとりゴミを〇g 拾う）
 - 解決した基準は？どう判断する？
 - 解決した後の姿は？

【生徒用】令和４年度 舞鶴市立白糸中学校 総合的な学習の時間「常に新たに」
『課題に応じた学び』を見取るループリック

項目	資質・能力	レベル AA	レベル A	レベル B	レベル C	向上が期待される 非認知能力
自分と向き合う力	自らの「疑問点（問い）」を作り出す力	<u>課題に対する多角的で本質に迫る</u> 自らの「疑問点（問い）」を作り出すことができる。	<u>課題に対する多角的な</u> 自らの「疑問点（問い）」を作り出すことができる。	<u>課題に対する</u> 自らの「疑問点（問い）」を作り出すことができる。	<u>何かしらの</u> 「疑問点（問い）」を作っている。	忍耐力 耐性 自制心 勤勉性 想像力
	自分の意志で感情や欲望を調節できる力	<u>周囲に流されず、自分の強い意志で感情や欲望をよりよく見通しを持って調節</u> できる。	自分の <u>強い意志</u> で感情や欲望をよりよく調節できる。	自分の <u>意志</u> で感情や欲望を調節できる。	自分の感情や欲望を <u>部分的に調節</u> している。	
	やるべきことを理解し、きちんと実行する力	<u>やるべきことを状況に応じて適切に判断し、自身の成長に向け実行</u> することができる。	<u>やるべきことを状況に応じて判断し、よりよい形で実行</u> することができる。	<u>やるべきことを理解し、きちんと実行</u> することができる。	やるべきことを <u>部分的に実行</u> することができる。	
自分を高める力	自分はそれが実行できるという期待や自信を持つ力	<u>困難な事柄に対しても、自分はそれが実行できるという期待や自信を根拠と工夫を基に持つ</u> ことができる。	<u>多少困難な事柄に対しても、自分はそれが実行できるという期待や自信を根拠を基に持つ</u> ことができる。	事柄に対して、自分はそれが実行できるという期待や <u>自信を持つ</u> ことができる。	自分はそれが <u>実行できると考えている</u> 。	自己効力感 自信 自尊感情 意欲 情熱 計画力 メタ認知
	自らの目標と関連付けた計画を立てる力	<u>根拠に基づく自らの目標と関連付けた効果的な計画を立て</u> ることができる。	<u>前向きな自らの目標と関連付けた効果的な計画を立てる</u> ことができる。	<u>自らの目標と関連付けた計画を立てる</u> ことができる。	<u>自らの目標と計画をそれぞれ立て</u> ている。	
	自らの行動についての自身の状況や内面を振り返る力	自らの行動についての自身の状況や内面を <u>原因と対策を付け加えて振り返る</u> ことができる。	自らの行動についての自身の状況や内面を <u>原因を付け加えて振り返る</u> ことができる。	自らの行動についての自身の状況や内面を <u>振り返る</u> ことができる。	自らの行動について、 <u>事実を振り返</u> っている。	
他者とつながる力	目標達成に向け、相手の立場に立ち関わる力	目標を達成させるため、様々な意見を持つ複数の相手の <u>立場を踏まえ、仲間に適切に関り働きかける</u> ことができる。	目標を達成させるため、複数の相手の立場に立ち <u>仲間に適切に関わる</u> ことできる。	目標を達成させるため、 <u>相手の立場に立ち仲間に関わる</u> ことができる。	目標を達成させるために、 <u>仲間に言葉をかけている</u> 。	社交性 協調性 協働性 意志疎通力 共感性
	相手の意見を最後まで聴き、内容に関する質問をする力	相手の意見を尊重し調子を合わせながら最後まで聴き、 <u>思考が深まる質問</u> をすることができる。	相手の意見に調子を合わせながら最後まで聴き、 <u>内容が深まる質問</u> をすることができる。	相手の意見を最後まで聴き、 <u>内容に関する質問</u> をすることができる。	相手の意見を <u>聞き、質問</u> をしている。	
	集団の中で自分の役割を自覚して行動する力	集団の中で <u>その場に応じた自分の役割と意義を自覚し、その内容が深化するよう行動</u> することができる。	集団の中で自分の役割と意義を自覚し、 <u>その内容が高まるよう行動</u> することができる。	集団の中で自分の役割を自覚して <u>行動</u> することができる。	集団の中で <u>活動</u> している。	

